

2019・市民発電 城陽 再エネ・省エネ講演会

温暖化の進行で災害が多発しています。昨年は6月に大阪府北部地震、9月には神戸市に上陸した台風21号が京都府を通過、同じく北海道胆振東部では大地震が発生、多くの方が犠牲となりました。北海道の地震では全島停電・ブラックアウトしてテレビなど電化製品が使えなくなりました。特にスマホが使えなくなり、充電できる場所で行列を作る人のニュースをご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

こんなとき、じぶん電気、身近で簡単にできるソーラー発電、手回し発電などちょっとした備えが暮らしを支えてくれると思いませんか？“自分で発電！”のワークショップをたくさん手掛けてこられた山見 拓（やまみ ひらく）さんにその事例やじぶん電気”を経験することにより、何気なく使っていたエネルギー・電気を考える機会になり、エコな暮らしに気づくこともお話いただきます。 一緒に学びませんか。

入場無料・事前申込不要・先着60名様

城陽市後援

☆日時 5月25日（土）午後1時から （開会は1時30分）

☆場所 文化パルク城陽西館 第3会議室 （近鉄寺田駅 南へ約10分）

☆タイトル 災害に備えようソーラーパネル

—スマホぐらいは、じぶん電気で充電だ！—

☆講師 山見 拓 氏（有限会社 ひのでやエコライフ研究所）

実際に作成されたベランダ発電（ソーラーパネル）
有）ひのでやエコライフ研究所より



*ベランダ発電（小さなソーラーパネル）や手回し発電機などの展示もあります。

講演会終了後、NPO法人市民共同発電をひろげる城陽の会の総会を行います。関心のある方はこちらにもご参加下さい。

主催 NPO法人市民共同発電をひろげる城陽の会（55-4190）

<http://jyoyonokai.sakura.ne.jp>

2019.05